

いつまでも住み続けたいまち江名子校区

えーまち (e-machi)

多年にわたりまち協の事業推進にご尽力いただき、本年度末でご退任されます役員・社教部会員の皆さんに振り返っていただきました。皆さん長い間ご苦勞様でした。

本年度は、新型コロナウイルス感染症防止のためいくつかの事業が中止や変更を余儀なくされましたが、そんな中でも様々な工夫を凝らしできる限りの対策を講じながら、予定していた多くの事業を実施できましたのは、皆様のおかげと感謝しております。本
【事務局】

退任の挨拶

「ごあいさつ」

中畑 稔

本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大により、春に「非常事態宣言」が発出され、学校が休校になったり外出が自粛となったり、高山市より不特定多数の方が集まるイベントや集会は自粛するように通達があり、まちづくり協議会の事業も予定通り行うことができませんでした。

新たな日常生活を行うため「ステイホーム」が提言されるなど、様々な事業がソーシャルディスタンスを守り、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため注意を払って実施させていただきました。中でも「親子交流トレッキング」と「緑日ウォークラリー」が最大の事業となりました。

新型コロナウイルス感染症防止のため学校が休校になった時には、留守家庭の子どもたちを支援するため「えなっこ弁当」を配布しました。また、災害時には各町内会の公民館が一時避難所となるため「プロパンガスの自家発電機」を順次設置しました。そのほか避難所のソーシャルディスタンスを守るために個別用のテントも購入し、安心して避難できる環境を少しずつではありますが充実を図ることがで

きました。

また、高齢者の皆さまや乳幼児親子さんが語り合える「え～まちサロン」についても2日～3日間に分けて実施するなど皆様にもご迷惑をおかけしました。

「いつまでも住み続けたいまち江名子校区」安心して安全に暮らせるまちづくりを行っている地域の活動団体を支援する目的で「地域活性化事業補助金」制度を立ち上げ各団体の活動に対して支援を開始しました。

最後になりましたが、みなさま方のご支援により4年目間務めさせていただくことができました。どうもありがとうございました。



市民意見交換会(11月12日)

令和3年度総会開催のご案内

期日 4月24日(土)

時間 午後5時30分 開会

場所 ひだホテルプラザ

本年度の事業報告と会計決算報告、令和3年度の役員承認・事業計画・予算案等について審議します。「いつまでも住み続けたいまち江名子校区」を目指してまちづくりを進めていくため、地域の皆さんに広く理解していただきたいと思ひます。参加を希望されます方は、準備の都合がありますので、事前にまち協事務局までお申し出ください。会場は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、三密を避け、ひだホテルにて開催を予定しております。感染状況によっては、書面表決に代えさせていただく場合もありますので予めご了解ください。(規約第14条の5)

5年間をふりかえって

中田 忠明

初代尾崎会長、二代目中畑会長の下、5年間副会長として大変お世話になりました。

発足当時、各事業に対して試行錯誤ではありましたが、校区皆様方のご理解のもと、協力的、積極的に参加して頂き、大変感謝しております。これからも住みやすいまちづくりの「支え」となるような江名子校区まちづくり協議会であってほしいと思います。今年度は、コロナ禍で各事業がなかなかできなかったことが残念でなりません。

最後になりますが、皆様方の日常が一日も早く取り戻せることを切に願い、御礼の挨拶と致します。本当に長い間ありがとうございました。

2期4年間の会計を終えて

帆ノ下 守

昨年1月末より、コロナ感染が流行りだし4月には緊急事態宣言が発令され、それ以降江名子校区においても多くの行事が中止となり、会長をはじめ事務局や本部役員の方々には何かと心配やご苦労があったことだと思います。今は一刻も早くコロナ禍が終息することを願うばかりです。

私のような者が、会計を仰せつかって4年経ちましたが、何も分からないうちに終わったように思えます。新しい役員さんには、会長のもと今一層活躍されることを期待しております。

4年間誠にありがとうございました。



避難所の開設(7月8日)

まち協社教部会・社教委員会役員を退任するにあたって

東濃 幸雄

平成26年度に社教委員として江名子校区の社教活動に参加して以来、今年度で7年間(まち協社教部会6年間)おもに各種行事の裏方として微力ながら務めさせていただきました。

在任中は多くの方々に出会い仲良くしていただき、たくさん助けていただきました。心より感謝申し上げます。思い出はたくさんありますが、花壇づくりコンクール、旧江戸街道ハイキング、防災イベント、町内対抗運動会の準備・実行、ドラム缶ピザやペットボトルロケットのときの子ども達の笑顔、上高地や天生湿原のトレッキング等々楽しい思い出の他、いろいろたくさん行事が思い出されます。

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う各種行事・イベントの中止や自粛により予定した行事の多くができなくなり大変残念に思います。皆様も不自由な思いをされていることと思います。しかし「やまない雨はない」とか「明けない夜はない」と申します、いずれはコロナ対策を取りつつも様々な活動が出来る日が来ると信じます。

江名子まち協の益々のご活躍と皆様方のご健勝を祈念申し上げます。

ありがとうございました。

団員募集 ~江名子ホークス~



令和2年度 高山市学童野球大会 優勝

日頃は、少年野球チーム「江名子ホークス」の活動に対しまして、地域の皆様には温かいご声援とご協力をいただき誠にありがとうございます。

現在、江名子ホークスは小学2~6年生をあわせて14名で元気に活動していますが、少子化や野球離れ等の影響もあり、団員数が激減しています。今後このような状況が続きますと、地域とともに歩んできた江名子ホークスの存続が危ぶまれてしまいます。そこで江名子の皆様にお願ひがあります。お子さんやお孫さん、ご近所子ども達にお声がけをしていただき、この危機を救っていただけませんか?ひとりでも多くのお友達が入団していただけることを心待ちにしております。

いつの時代もこの江名子の地で、子ども達が楽しく野球をしている姿が見続けられることを願うばかりです。勝手なお願いになりますが、何卒ご協力をお願いいたします。

江名子ホークス 育成会 長瀬 祐二



思い出

野中 康彦

社教委員の任期は2年間で、最初は長いと思いましたが、あっという間でした。各委員会の行事が多いことに驚きました。天候やコロナ禍の影響で中止となった行事が多かったことは残念です。

一番の思い出は、山口町社教としては、3年ぶりとなった花壇活動です。花のことは無知で不安ばかりでしたが、たくさんの方の力をお借りして取り組んだ結果、きれいに花が咲き、とても嬉しかったです。

いろいろな行事や活動に携わることができ、良い経験となりました。ありがとうございました。



えなっ三茶会(7月12日)



続ける意味

河合 史生

今年度、子ども会育成委員長を務めさせていただきました。例年に比べると行事が減り子ども達にも寂しい思いをさせてしまったのではないのでしょうか。

行事が減ったことで、今年は“楽(らく)”だったという言葉が聞きます。また来年からは中止でいいという内容の話も聞きます。確かに仕事を抱えている中で、役員を務めるのは大変だと感じますが、楽(らく)をしたいから中止にする(表現に語弊があるかも知れませんが)ことが、将来にとっていいのでしょうか。大変だからこそやって良かったと達成感が得られ、その達成感は子ども、大人関係なく感じられると思うのです。むしろ子どもには感じてほしい感情です。特にドッジビーは子ども達で進行する行事で、そこから得られることはいろいろあったはずだと思います。

改めて、一つ一つの行事の在り方について考え続けられる工夫が大切だなと感じました。貴重な体験をさせて頂き、ありがとうございました。



飛ばして遊ぼう紙飛行機(8月30日)



コロナ禍の一年

堀野 智浩

コロナ禍、自粛ムードの中、体育委員長を拝命し、不安しかないスタートでしたが、メンバー皆が前向きで、この世の中だからこそ、行事を中止するのではなく、如何にして行事を開催するかを大前提に、皆で知恵を出し合い、考えながら進めてきました。今改めて考えると、様々な背景や人との関わりの中で、考え創り出す大変さを経験できた1年だったと思います。

まだまだ、コロナ禍の日々は続きますが、このご恩を胸に、感謝に気持ちを忘れず日々すごしていきたいと思っています。1年間本当にありがとうございました。



校区花いっぱい運動(8月30日)

多くを学んだ一年間

山下 美香

本年度、女性委員長という大役をやらせて頂き、当初は何をすればよいのかも分からず、ただただ部会などに参加させて頂いている状態でした。本年度は特に、例年と違い国内全体が、今までに経験したことのないコロナ禍という状態になり、校区においても、活動及び話し合いですら集まることが難しい中、いろいろな行事も中止になりました。そんな中でも、三密を避けながら行った“ウォークラリー”はとても意義のある行事だったと思います。今後どのような状況下でも行える行事の考案が必要だと考えさせられました。

私的には、何もお役に立てない1年間でしたが、とても良い勉強になりました。1年間どうもありがとうございました。



避難所用テント(イメージ)

社教部活動をふりかえり

中田 清隆

近年の異常気象やコロナウイルスにより、令和2年度は活動に多くの支障が出、なかなか事業ができませんでした。

社教部の活動の中でも、花壇の管理が一番の活動でもありました。春先の苗の植え付け時には、雨が降り、泥だらけになりながらも、町内の皆さんの協力により植え付けができましたが、その後の長雨により、苗が腐るなどの困難が生じました。夏になると一転し高温が続き花が枯れるなど、極端な気象変化には、繊細な花の管理はとても大変でした。そんな中、きれいに咲いた花壇を皆さんに見てもらえてよかったです。

行事としては、高温とコロナ感染防止のため中止となった厚生病院夏祭りは、2年連続の中止で残念でした。町内対抗運動会は、天候不順やコロナ感染のため中止となった中、まち協の皆さんの検討により「縁日ウォーキング」という形で代替りのイベントが開催できました。私は、ゴール後の的当てや紐引きクジを担当しましたが、参加者の皆さんには大いに楽しんでいただけたようでした。上江ふれあいセンターで開催されたドラム缶ピザ作りも、コロナ対策をした上での開催となりましたが、参加した子ども達は喜んでピザ作りをしていました。

今年は、コロナによりなかなか思うように事業はできませんでしたが、皆さんと協力し、やれることはやってきたと思います。大変でしたが無事任期を終えることができました。皆さんありがとうございました。

お弁当をどうぞ え～まちサロンに代えて

緊急事態宣言の発令に伴い休止となった「え～まちサロン」の代わりに、お弁当の配達という形で2月18・19日に実施しました。

これまでにサロンに参加して下さった方を中心に、事前に安否確認と弁当の予約を取り、2日間で76名の方に、「元氣でお過ごしください」などと書かれた手紙と共にお弁当をお届けしました。3月は11・12日にも同様の形で実施しました。



地域活動運営補助金を ご活用ください

校区でスポーツや文化活動等のサークル活動、またボランティア等の実践活動を行っている諸団体の活動に対して、少額ではありますが、まち協から運営を支援する補助金制度ができました。

本年度は、次の6団体の皆さんに活用していただきました。「荏名マザーズ」「千種歌会」「江名子ホークス」「上江卓球クラブ」「上江体操クラブ」「おはなしポケットの会」

次年度も6月頃にご案内させていただきますので、ご活用ください。ご利用いただくには所定の手続きでの申請・報告が必要ですので、詳しくはまち協事務局までお尋ねください。 【本部】

みなさんの協力で

白木 直

今年度はなんといってもコロナ感染防止のため、かなりの行事が中止となってしまいました。そんな中でも、広報委員として、天生湿原のトレッキングや町内対抗運動会に代わる緑日ウォーキング、ドラム缶ピザ作りなどの行事では、参加者の皆さんが楽しんだり頑張ったりしている姿や、準備や手伝いに協力されている役員さんの姿を写真に撮らせてもらいました。特に緑日ウォーキングは初めての行事ということで、体育委員さんはじめ役員の皆さんは大変だったと思います。私も行事に参加することで、普段できないことを体験できて良い経験となりました。

町内の花壇や社教委員会の活動を皆さんの協力でやり終えることができました。ありがとうございました。



ファミリートレッキング ～初峰山山頂にて～(8月9日)

障害だらけの二年

野尻 二三男

社教委員という役を頂き、「花壇がメインやぞ」と言われて当初向かいましたが、まち協の行事のお手伝いがメインと知り、これは大変だと思いました。

ところが一年目は熊の出没や悪天候のため、数多くの行事ができなくなりました。二年目になると、新型コロナウイルスにより、またしても行事自粛。豪雨長雨により花壇は発育不全、自分の町内の花壇もイマイチでした。そんな中でもできた「ドラム缶ピザ作り」「江名子ウォークラリー」は、子どもから大人まで皆が楽しめたイベントでした。長く続けてほしいイベントでした。

今年もコロナ禍の中大変だとは思いますが、新役員の皆さん体に気をつけて頑張って下さい。二年間ありがとうございました。

行事の工夫

塚畑 雅巳

今まで社教という活動にあまり関心がなかった私ですが、本部役員、社教役員の皆さんに支えられながら無事に任期を終えることができ感謝しています。コロナ禍で行事が縮小されましたが、ソーシャルディスタンスを保ちながらのドラム缶ピザ作りやスタンプラリーなどは、子どもだけでなく大人も楽しめてリフレッシュできました。

春から始まった花壇作りは、役員の皆さんに手伝っていただきながらきれいな花を咲かせることができ、育てる喜びを得られました。ありがとうございました。

これからもいろんな行事を通して、江名子校区の皆様の絆がより一層深まり、住み続けたい町になるよう願っています。



安心・安全でうるおいのあるまちづくりに向けて

コロナ感染予防対策の一つとして、来校者用の「非接触型体温検知器スタンド」「消毒用ディスペンサー」各2台を購入し、1組は学校へブルーヒーター1台と共に貸与しました。また、非常時・災害時用に「ガス発電機」を各町内へ一台ずつ配置しました。

一方、地域の皆さんや小学校児童の皆さんの交流やいこいの場となることを願い、校庭へ木製ベンチ4脚を設置します。

市へ情報提供書(町内要望)を提出します

各町内から提案(要望)された新規・継続合わせて72件を、江名子校区まちづくり協議会が取りまとめ、3月24日、令和3年度事業分として「情報提供書」を市長さんに提出しました。

今後、市の担当部課毎に【実施・一部実施・対応不可・関係機関へ伝達・その他】のいずれかの形で回答され、【実施・一部実施】については、令和3年度事業として順次実施されていきます。



なつこのつばやき

作/垣内奈津子



江名子校区まちづくり協議会の専用 FAX 番号ができました FAX(0577)77-9984

たくさんのシトラスリボンをありがとうございます

先日錦町にお住まいの方から、たくさんのシトラスリボンが届けて頂きました。シトラスリボンプロジェクトは、新型コロナウイルス感染症の拡大による差別や偏見をなくし、誰もが笑顔で暮らせる社会を取り戻すためのプロジェクトです。

シトラスリボンやロゴを身につけたり、家庭の玄関や郵便受けに掲示したりして、「ただいま」「おかえり」の気持ちを表す活動を広め、思いやりの輪を広げましょう。



Citrus Ribbon PROJECT

まち協クイズ20

～頭隠して尻隠さず～

おなじみ まち協クイズ21をお届けします。

今回からもう一つのことわざ 隠しです。下記の四つの諺に隠れている四つの漢字と、その字から成る もう一つの諺を教えてください。

- ア 焼け()に水
- イ 浅い川も深く()れ
- ウ ()けば 埃(ホコリ)が出る
- エ 危ない()も 一度は渡れ

*回答は次回この欄で紹介いたします。

前回の解答 アロ イ開 ウ番 エー 【開ロ一番】

前回 二番目の諺。「握れば拳 開けば掌」はものごとはたとえ同じものでも、それに対する気持ちの持ち方次第で変化するという意味。

解答用紙

答えを記入して4月15日までにまち協事務所へお届けください。抽選で正解者10名にプレゼントを差し上げます。FAXによる応募もOKです。

解答

ア	イ	ウ	エ	【もう一つの諺】

お名前

ご住所

連絡先☎

■ご応募先 FAX 34-7253